



# コラム Column

## 小売店の多面的機能について

渡部 靖夫

私の生活は、小売店との関わりが強い。両親は小さな玩具店を経営しながら私たち兄弟を育てたが、10年ほど前に店を閉じた。妻の実家は、小学校正門横で文具店を経営し、こちらは亡くなった祖母が開業して以来80年余、細々ながらも何とか持ちこたえている。

私たち兄弟は、クリスマスなどの繁忙期にはよく店の手伝いをさせられた。客としてやって来る同級生に見られたり、頭を下げたりするのが嫌でたまらなかったことを覚えている。「大人になっても店は継がない。絶対にサラリーマンになってやるぞ。」と心に誓ったものだ。かくして私は初志を貫徹し、めでたく(?)勤め人になったが、妻が両親の文具店を手伝っている関係で、時々その様子を見る機会がある。

そんな時に気付くのが、文具店のもつ外部経済性いわゆる「多面的機能」だ。なるほどOECDのレポートにもあるように、多面的機能は農業特有のものではなく、文具小売業もいろいろと発揮しているのである。試みに、そのいくつかの機能を取りあげて整理したのが下表だ。

この他にも、学校との付き合い方や姑との確執に悩むお母さんたちの話し相手になる「コンサルティング機能」、家に帰っても両親が共稼ぎでない子供たちが長時間滞在して暇つぶしする「保育機能」などあげればきりが無い。しかし、残念ながらこれらは売り上げ増加に結び付かないことが多い。つまり市場メカニズムに内部化されない奉仕活動のようなものだ。

一方最近では、近所に大型ショッピングモールや激安100円ショップなどが進出して小売店の経営は苦しく、近所の同業者が相次い

で店を閉じている。商品知識のない店員や粗悪な安売り商品に不満をもつ一部のお客は「お宅のような小売店がなくなって不便になった。」と言ってくれるが、かといって高額商品は滅多に売れず、鉛筆1本でも買ったたくお客が結構多い。若干の経済学的知識を得た妻は「販売価格に多面的機能の値段を上乗せできる市場メカニズムにしてもらおうか、直接支払いを頂戴したいものなの。」と嘆くことしきりなのである。

そういえば、厳しい構造調整の波にさらされている文具小売業界が、その多面的機能の発揮を根拠に、国内支持や直接支払いを政府に要求しているとは聞いたことがない。私の父は、大型店に駆逐されて店をたたむことになっても、支援不足に対するグチはこぼさなかった(と思う)。

農業の多面的機能が、国民生活にとって重要な役割を果たしていること、国際的には価格競争力のない日本農業を支持するための有力な論拠となっていることは言うまでもない。とはいえ、「農業は特別ですから！」と主張し、もし農業以外の分野の人たちから唯我独尊と受け止められるならば、決して得策ではないだろう。どのような産業においても、行き過ぎた市場原理によって脅かされている多面的機能が存在することを認め合うことが大切であり、時には共闘する余地さえあるかもしれないと思うのである。

文具店のもつ多面的機能

種類	内容
非行防止	学校帰りの子供たちを一時的に店内に貯留し、ゲームセンター等非行誘発的施設への流出さらには非行化を防止・軽減する機能
街並形成	美しい店舗や商品陳列を維持・保全することにより地域住民や顧客に対して美的感覚などを訴えかける機能
道草休憩	勉強に疲れた子供たちに、やさしい語りかけを通して学校や家庭では得られないアメニティさらには潤いややすらぎを与える機能
地域社会連帯	地域住民の出会いの場を提供し、当該地域の社会的・地域的連帯の強化を通じて国土の均衡ある発展に貢献する機能